

2021年度 日本輸血・細胞治療学会
精度管理調査

実態調査集計報告

概要

- 回答期間 : 2021年11月16日～12月10日
- 参加施設 : 81施設 (全国大学病院輸血部会議参加施設対象)
- 回答施設 : 81施設 (100%)

輸血検査体制に関して

1-1 分析装置の使用 全施設使用

81/81 100%

2-1 ABO血液型、RhD血液型

3-1 不規則抗体スクリーニング

4-1 不規則抗体同定検査

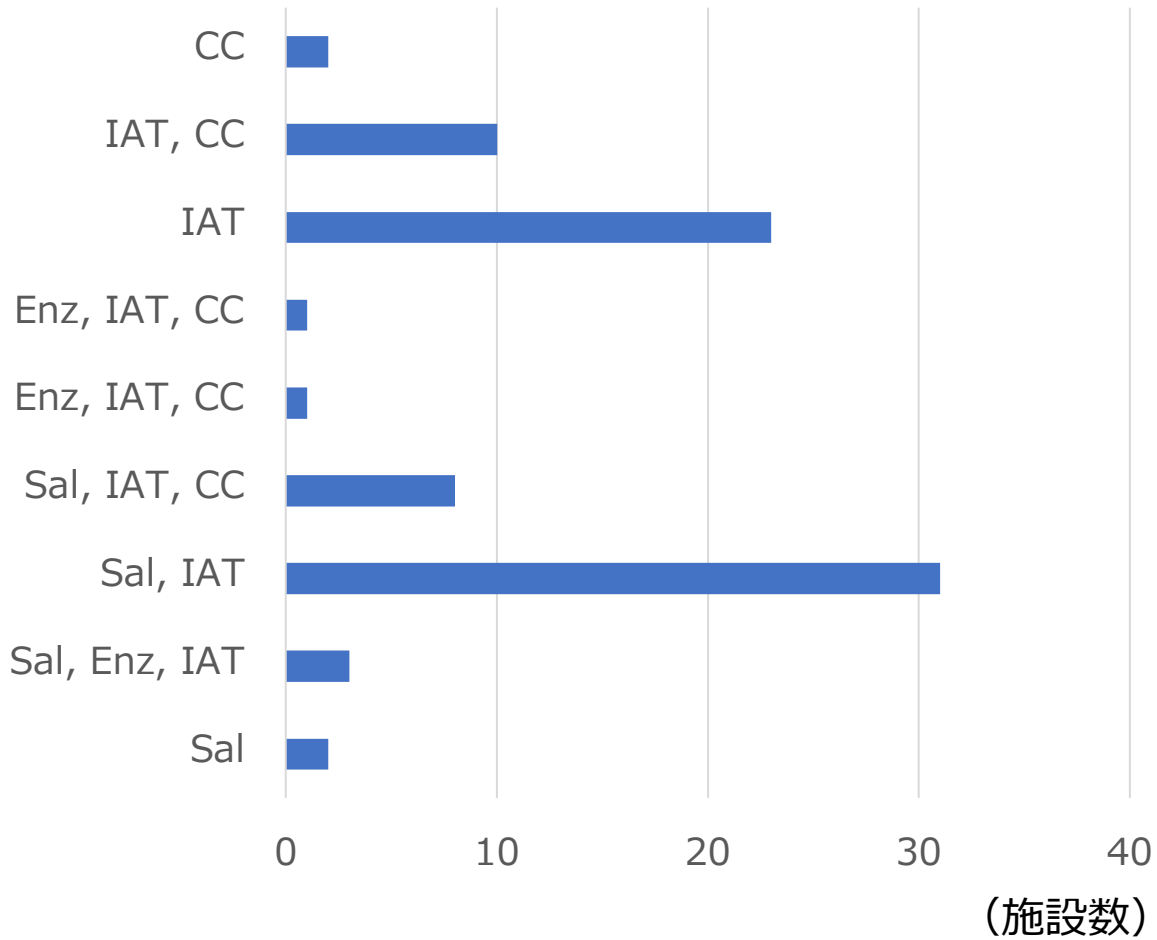
5-1 交差適合試験

全施設 すべての検査を自施設で実施

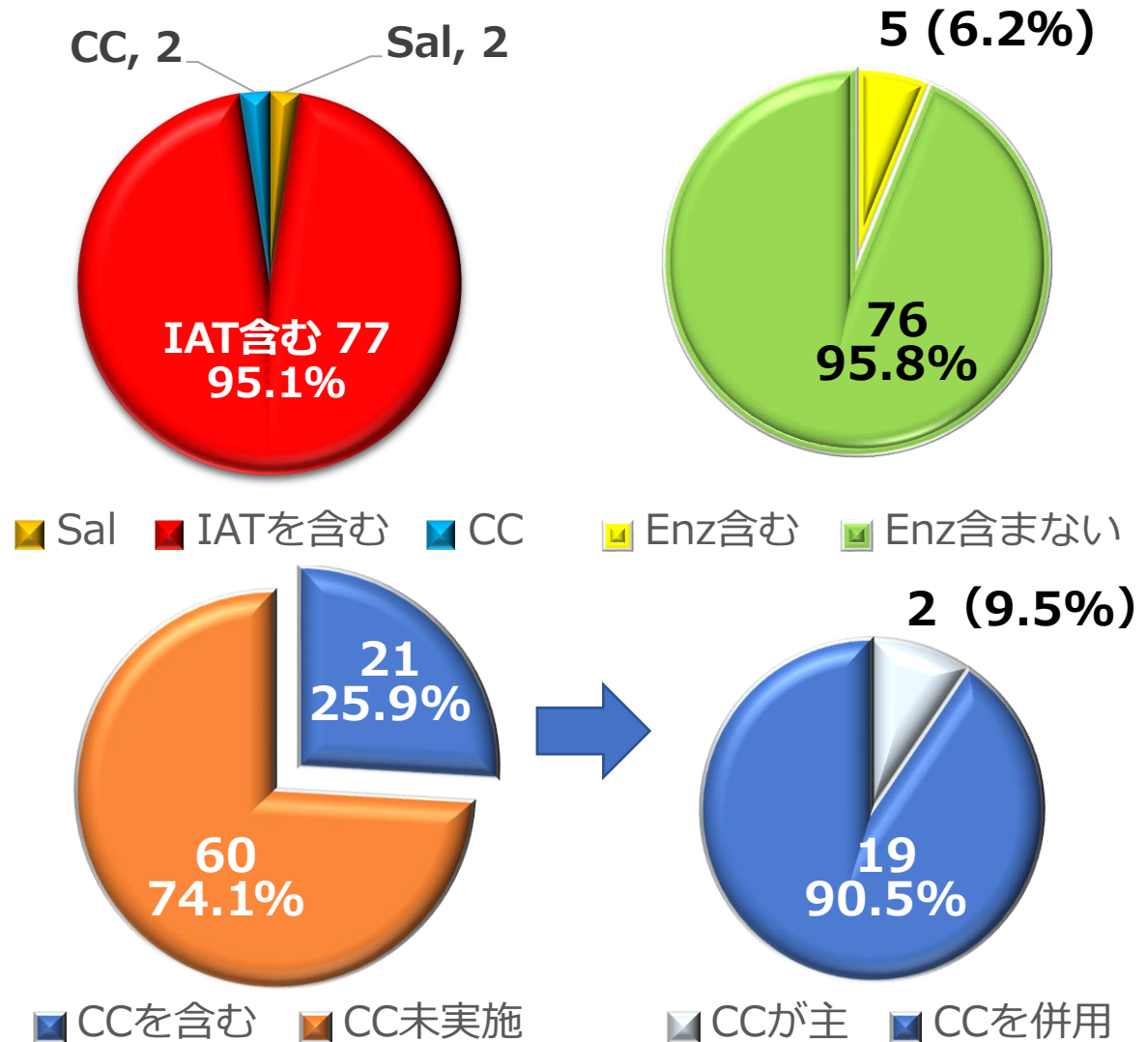
81/81 100%

交差適合試験

5-2 交差適合試験の主な方法



CC : コンピュータクロスマッチ



日赤製剤（赤血球）の型確認について

5-3-1 ABO血液型の確認検査

ABO血液型	施設数
すべて実施	48
一部または必要時のみ実施	23
未実施	10

すべてもしくは一部（必要時）実施

71/81 87.6%

コンピュータクロスマッチ実施 21施設

21/21 100%

5-3-2 抗原陰性血の因子確認検査

因子確認	施設数
すべて確認している	32
確認していない	46
その他	3

5-3-3 赤血球抗原情報検索システムの使用

赤血球抗原情報検索システム	施設数
活用している	80
使用したことがない	1

製剤管理について

6-1-1 輸血用血液製剤（血漿分画製剤除外）管理

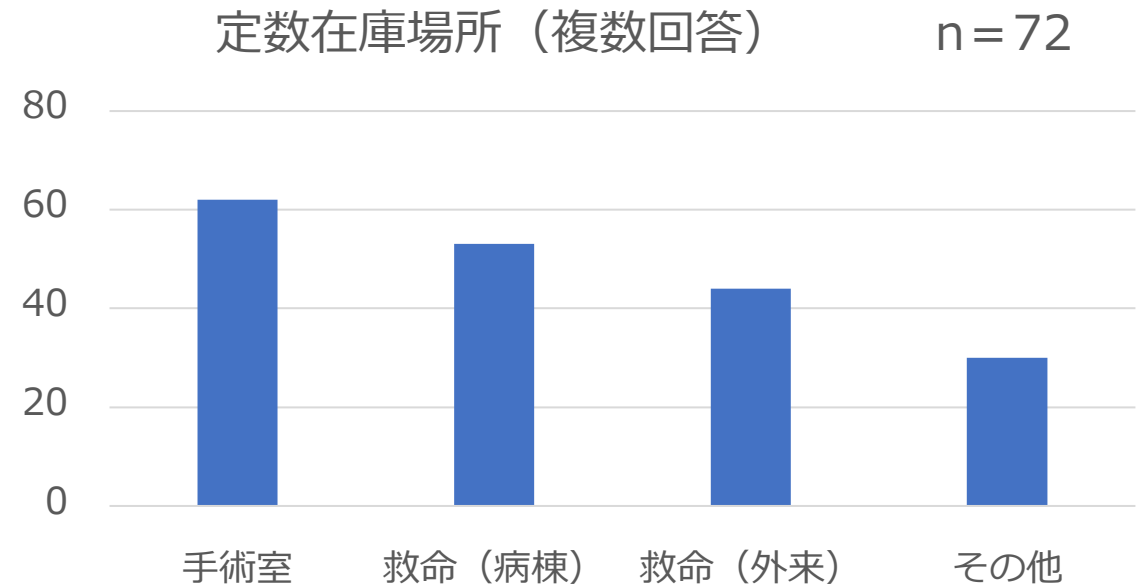
管理部門	施設数
輸血検査部門	81

6-1-2 アルブミン製剤管理

管理部門	施設数
輸血検査部門	54
薬局	25
その他	2

6-1-3 アルブミン製剤の定数在庫

管理部門	施設数
定数在庫はない	9
定数在庫場所がある	72



輸血用血液製剤保管庫について

6-2-1 輸血用血液製剤（血漿分画製剤除外）管理

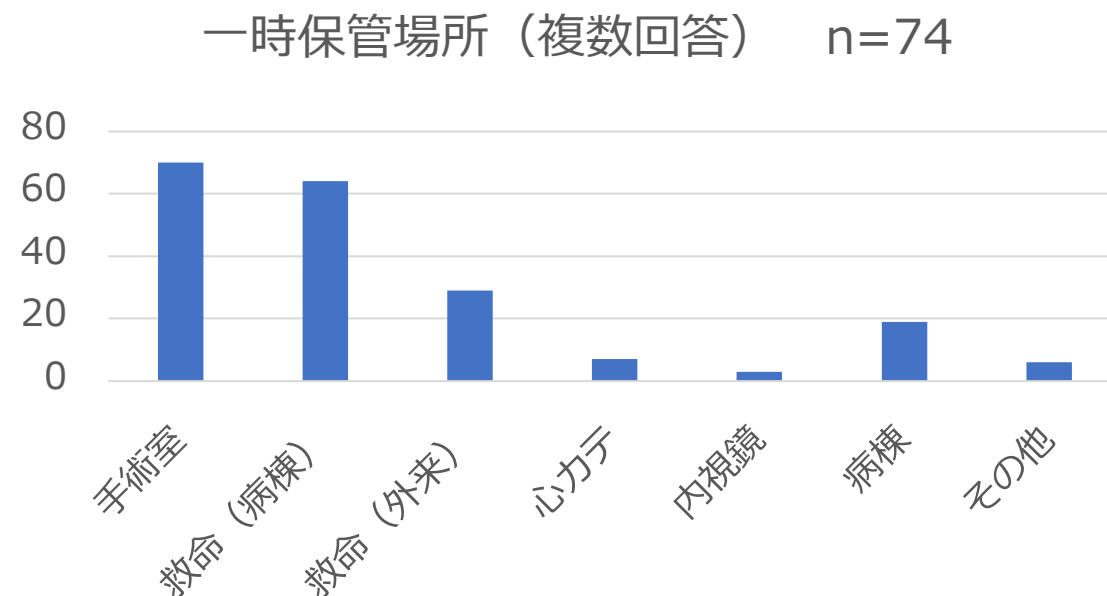
保管庫	施設数
輸血専用保冷库	81

6-2-2 輸血用血液製剤の保冷库の温度管理機能

管理部門	施設数
自式記録計および警報装置	79
警報装置、その他	1
その他	1

6-2-3 輸血管理部門以外の一時保管場所

管理部門	施設数
一時保管場所はない	7
一時保管場所がある	74



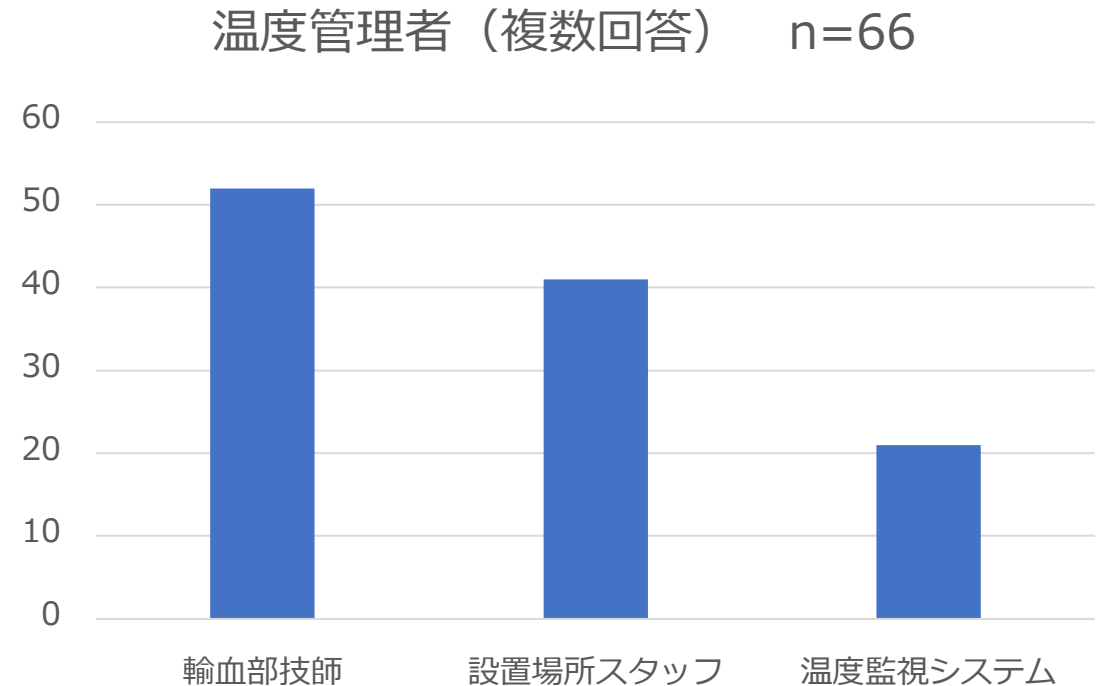
保冷库温度管理について

6-2-4 一時保管場所含めた保冷库温度管理

温度管理	施設数
設置保冷库すべて実施	66
輸血検査部門のみ実施	8
輸血検査部門および一部	2
一部管理	5

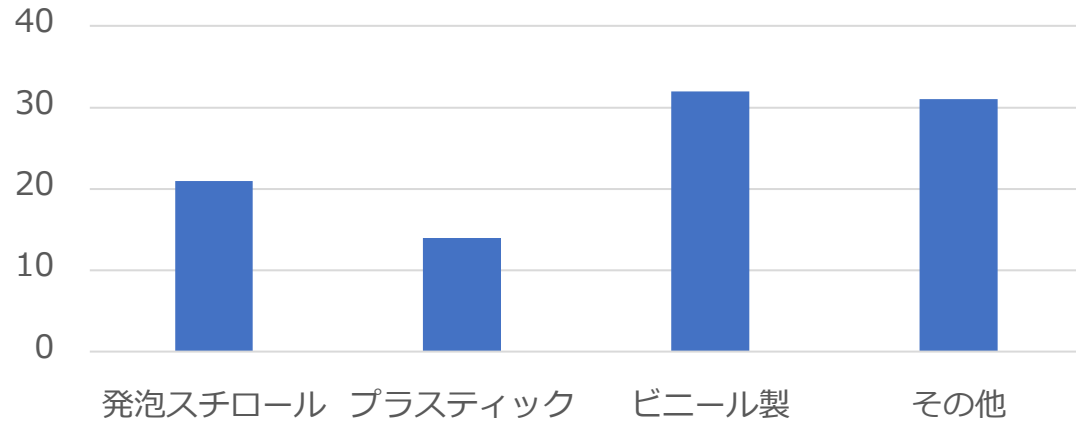


6-2-5 設置保冷库すべて管理している66施設 一時保管場所の保冷库の温度管理 担当

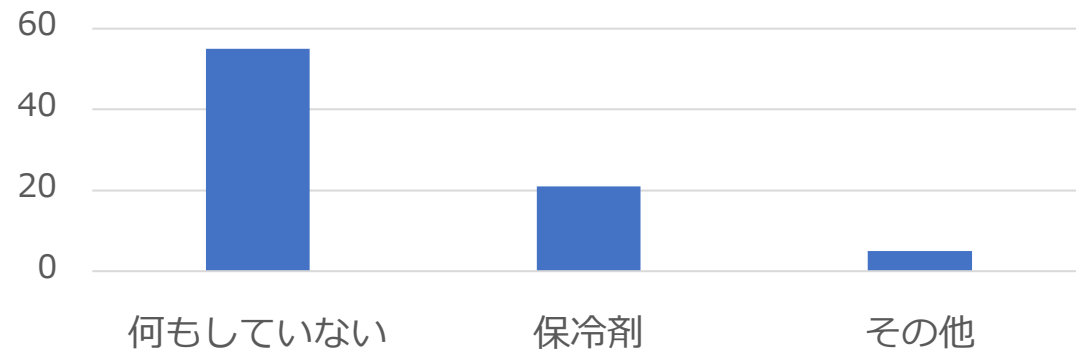


搬送用容器について

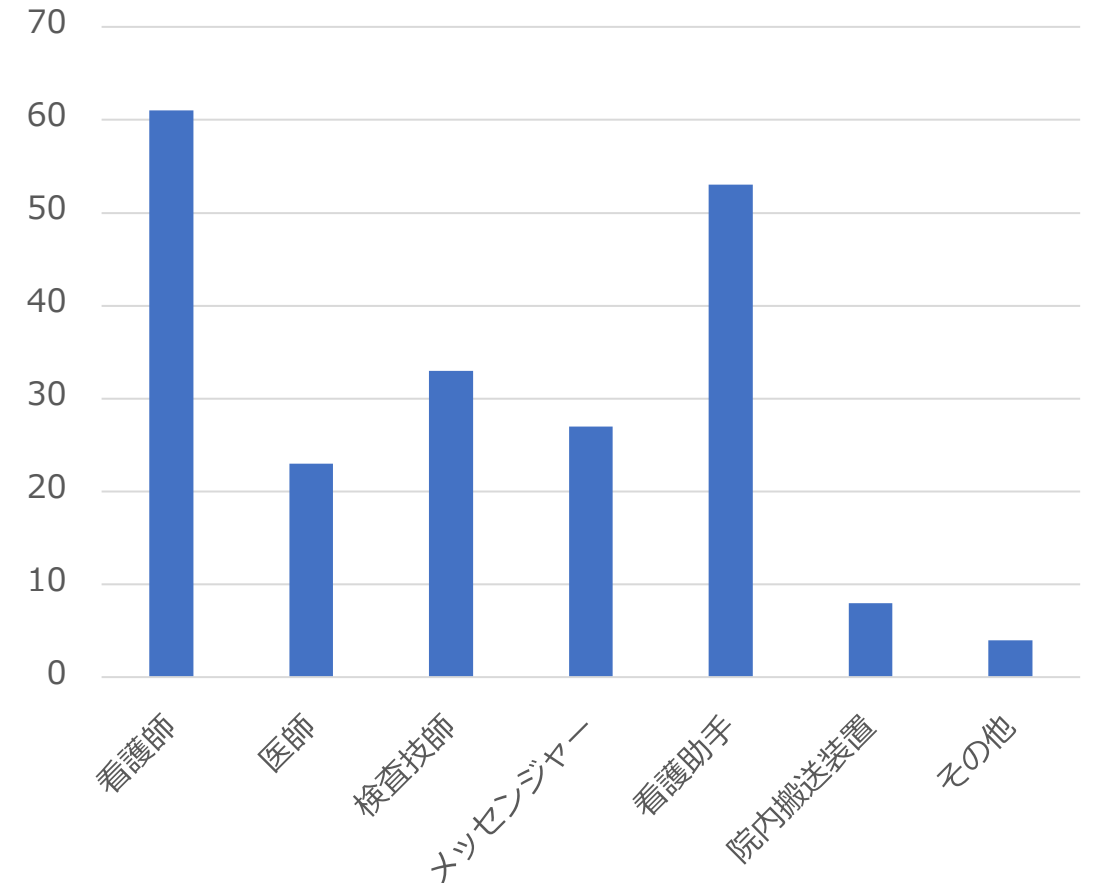
6-3-1 搬送容器（複数回答）



6-3-2 搬送容器の保冷方法



6-3-3 輸血用血液製剤の主な運搬者（複数回答）



保冷機能付き血液運搬装置（ATR）について

6-3-4 ATR保有の有無

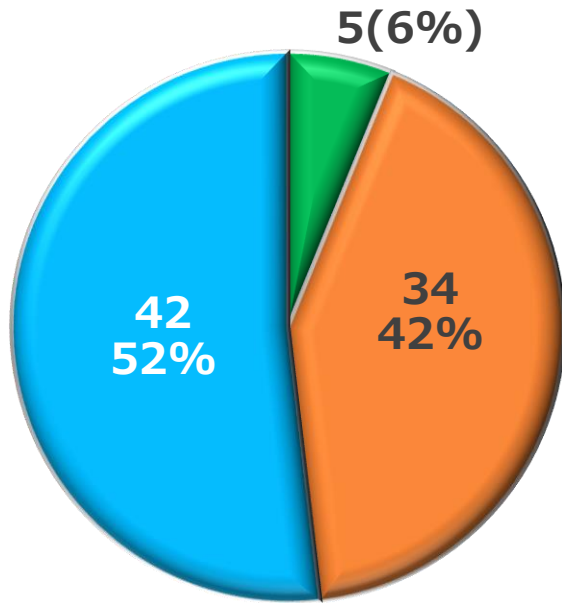
はい	17 (21%)
いいえ	64 (79%)

6-3-5 ATR使用について (n=17)

使用状況	施設数
Drへリ、Drカーによる搬送	5
輸血専用保冷庫が設置されていない部署への払い出し	8
成分採血後の細胞搬送	1
平日日勤帯のMTP時	1
未回答	2

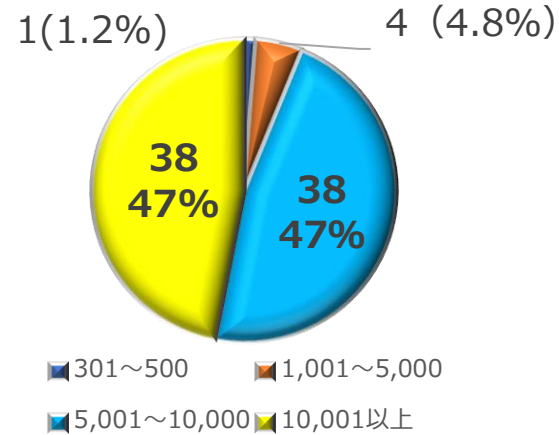
輸血実施規模

7-1 赤血球製剤（RBC）使用単位数



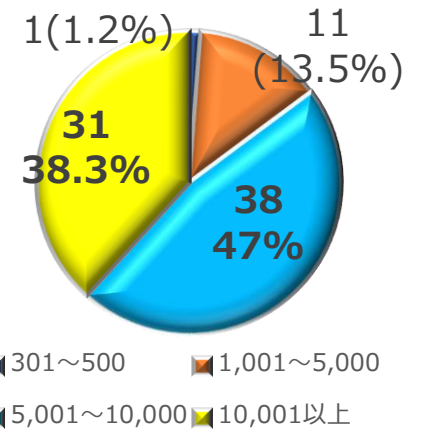
- 1,001~5,000
- 5,001~10,000
- 10,001以上

7-2 ABO・RhD検査件数



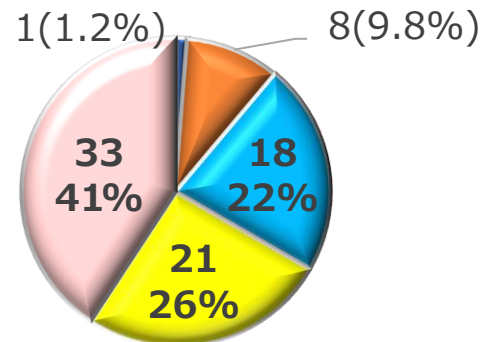
- 301~500
- 1,001~5,000
- 5,001~10,000
- 10,001以上

7-3 不規則抗体Sc件数



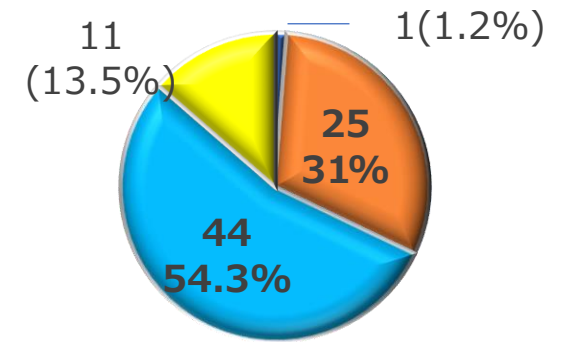
- 301~500
- 1,001~5,000
- 5,001~10,000
- 10,001以上

7-4 不規則抗体同定件数



- 1~10
- 11~50
- 51~100
- 101~200
- 201以上

7-5 交差適合試験件数



- 1~100
- 1,001~5,000
- 5,001~10,000
- 10,001以上